



TITLE:

[主な宮繕工事]飛騨天文台

AUTHOR(S):

CITATION:

[主な宮繕工事]飛騨天文台. 京都大学大学院理学研究科附属天文台年次報告 2005, 2004年(平成16年): 37-37

ISSUE DATE:

2005-12

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/172307>

RIGHT:

7 主な営繕工事

7.1 飛騨天文台

1. 専用道路整備工事

例年融雪時に不可欠である専用道路の落石崩土除去や側溝等整備、及び碎石敷均し工事を行いました。

2. 災害復旧工事

平成 16 年 9 月 7 日夜半に能登半島沖を通過した、台風 18 号による集中豪雨で路面が流失した専用道路の災害復旧工事を行いました。

3. 災害復旧工事

平成 16 年 10 月 20 日に日本列島を縦断した超大型台風 23 号による強い豪雨で、専用道路 の路側が決壊し、路面が流失した被害の災害復旧工事を行いました。

4. 水源地及び受水槽揚水ポンプ改修工事

永年経過と老朽化で 2 台が損傷し、残り 2 台のポンプも劣化が著しく損傷が危惧されていた水源地と研究棟受水槽の揚水ポンプを改修しました。

5. 65 cm 屈折望遠鏡ドームの昇降床ワイヤーロープ改修工事、及びドーム外部保守用ステージの取付け修理工事

設備以来 33 年の永年経過と老朽化で、極めて危険であったドーム昇降床ワイヤーロープの取替え改修工事と、ドームスリット上部からの落雪で損傷し落下した外部保守用ステージの取付け修理工事を行いました。

6. 厨房設備改修工事

昭和 43 年開所以来の設備で老朽化した厨房給水設備、給湯設備、換気設備や、床張替え等の改修工事を行いました。

7. 65 cm 屈折望遠鏡棟 高圧ケーブル更新

研究棟受電室から 65 cm 屈折望遠鏡棟電気室への送電に使用されていた高圧ケーブルは、老朽化により漏電事故等の心配がありました。今回、この高圧ケーブルの使用を廃止し、低圧電力により送電する方式としました。これにより、この区間の漏電事故の発生の防止と、高圧電力を扱わなくなる事により、メンテナンスの手間が大幅に低減しました。

(石浦、木村)